

茅ヶ崎同盟教会 教会学校だより

2011 年度年間暗誦聖句 (こどもさんびか 109 番)

神を愛する人びと、すなわち、神のご計画に従って召された人びとのためには、神がすべてのことを働かせて益としてくださることを、私たちは知っています。
ローマ人への手紙 8 章 28 節(口語訳)



教会学校では、毎年 5 月の中ごろ、教会から歩いてすぐ、“えぼし岩”の見える茅ヶ崎海岸に集まり、砂浜で思いっきり遊ぶビーチプレイデイを開催しています。昨年は雨のため中止となりましたが、今年はとっても良いお天気の中、おもいきりビーチで遊びました。成人科担当の飯田純子姉のレポートです。

2011 年ビーチプレイデイ・レポート

飯田純子 記



5 月 15 日第 3 聖日(教会では日曜日を聖日という)の礼拝後ビーチプレイデイのためみんなで海岸へ行った。午前中はお天気も良く晴れ、真夏を思わせるようであったが、午後はうす曇りに変わり、風も強く、少々寒いくらいであった。

1 時 15 分に教会に集合し、森本 CS 校長がお祈りして出発した。参加者は子ども 12 名、大人 12 名であったが、直接海岸に来られた大人や子どもを入れると、子ども 16 名、大人 19 名となり総勢 35 名であった。参加者は教会学校の生徒ばかりでなく、絵本大好きの会に来ている親や子どもも参加して下さった。子どもは 2 歳から小学校 6 年生までであった。

海岸に着くと、中・高科担当の大木姉が持って来てくださったビニールシートを敷き、パラソルを立て、そこにバッグなどを置いた。早速、杭を 4 本立てて、ひもを渡してかこったその場所を宝探しの場所として、小さい穴をいくつも掘り、そこに番号の書かれた小さいボールを埋めた。子どもたちはおもしろがって、2 個も 3 個も入れようとする。わいわいしながら 25 個埋めた。



さて、いよいよゲーム開始。ドッジボール、玉入れ、宝探しで、始めにドッジボール。みんなが大好きで、ビーチプレイデーでは定番のゲーム。まず、子どもだけで2組になり、小さな子も大きな子も一緒になって始めた。しかし、風が強くボールが流されてしまい、思うように投げられない。それでも子どもたちは夢中になり陣地を交代したりして2度した。

玉入れは紅白の玉をそれぞれのかごの中に入れて数を競うので、紅は校長先生、白は成人科担当の古川兄が真ん中に立ち、頭上にあるかご目指して玉を入れる。自然と大きい子と小さい子に分かれ、紅の方は小さい子が多く、おじいちゃんやお父さんに抱き上げられてもらって入れた。みんな一生懸命入れようとするが、なかなか入らない。玉はあちこちに飛んでいく。それでも23対21で白が勝った。

いよいよ宝探しである。合図でボールが埋められたと思われるところを次々と掘っていく。1人で2個も3個も見つける子もいれば、小さい子はなかなか見つけられない。ボールの番号と同じ番号の景品と交換する。この景品は教会員の方々が出してくださったもので、いろいろある。さて、始めはすぐ見つけられるが、だんだん掘っているうちにボールが砂の中に埋まっていってわからなくなる。子どもたちは夢中になって掘っていくので、ますます難しくなる。結局最後まで見つけられないボールがいくつか砂の中に残ってしまった。でもこの宝探しゲームはとても子どもたちが好きで楽しみなのである。

そうこうしているうちに終わりの時間(3時)に近づいてきたので、大人組と子



ども組になってドッジボールをした。大人組は加減しつつゲームをするが、子どもたちは一生懸命力いっぱいする。まわりで見ている大人たちも応援に力が入る。でも、子ども組は次々と当てられて、ついに小学4年生の美希ちゃん1人になってしまった。1人になってしまった美希ちゃんのがんばりようはすごい。音を上げない。最後までがんばりぬいたが、ついにボールに当たってしまって、子ども組は負けてしまった。

ここで休憩し、持ってきたおやつを食べ、フルーツ・ジュースなどを飲んで帰ることにした。最後に海を背に記念写真を撮り、ビーチプレイデー担当の古川兄がお祈りして終わりにした。ただ、風がとても強く、寒く感じられた午後の時間であった。

編集後記 (May 28th. 2011 Updated)



少し風のある肌寒いお天気でしたが、日曜日の海岸は散歩やスポーツやバーベキューなどの人でいっぱいでした。砂遊び大好きな子どもたち、今回も砂に埋めた宝探しゲームは大変に熱が入り盛り上がりました。蛇足ながら、もしもウン円札を埋めたら、父兄も夢中は必至...!!? 来年もやります。個人的には穴掘り作業とドッジボールで疲れしました。さて、今年も夏休みには教会で1日の夏期学校が計画されています。聖書のお話とランチ、おやつのスイカ、水遊びや花火大会など、楽しいプログラムがみなさんをまっています。(森本)

